



★ 今年度の外来診療日について ★

【 秋分の日:9月24日(月) 】

通常診療日とします。

(1) 新任医師のご紹介 (平成30年7月1日付)



★形成外科 平井 優樹(医員)

7月から勤務させていただきます。形成外科は、全身の体表面にかかわる外科です。皮膚にできものあるかた、顔にけがをされたかた、火傷をされたかた、傷跡が気になるかた、あざやシミがあるかた、最近瞼が重くなってきたかた、治りにくい傷のあるかた、など幅広く診療させていただきます。ぜひご相談ください。

・専門:形成外科一般

★泌尿器科 田口 元博

この度7月より泌尿器科で勤務させて頂くことになりました田口元博と申します。6月までは兵庫医科大学病院で勤務していました。少しでも地域の皆様に貢献できるよう頑張っていきたいと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

・専門:泌尿器科一般

★小児科 森田 啓嗣

この度、明和病院の小児科に赴任する事となりました森田と申します。大学卒業後、兵庫医科大学病院にて地域のお子様方の加療に携わって来ました。病気のお子様は勿論、御両親の気持ちにも寄り添った医療が出来るよう、日々邁進する所存です。些細な事でも、ご相談ください。

・専門:小児科一般

(2) 医師から皆様へ 〈 糖尿病網膜症について 〉

【糖尿病の眼におこる合併症】

糖尿病は全身にいろいろな合併症を引き起こします。三大合併症の一つに糖尿病網膜症があります。糖尿病網膜症は日本で視覚障害の原因の第2位になります。世界の疫学研究では糖尿病患者のうち糖尿病網膜症をもつのは約3人に1人、視力を脅かす危険のある網膜症をもつのは約9人に1人という結果でした。



【網膜症とは】

目の奥の網膜はカメラでいうとフィルムに当たります。網膜は多くの毛細血管があります。糖尿病の人の血液は糖が多く固まりやすい状態になっているため毛細血管が詰まりやすくなったり、血管の壁に負担がかかり眼底出血を引き起こしたりします。そのため網膜に酸素や栄養が不足した状態になります。網膜症は状態により進行の段階が単純網膜症、増殖前網膜症、増殖網膜症と3つに分けられます。単純網膜症から増殖前網膜症の段階ではほとんど自覚症状はありません。

【治療】

治療の基本は血糖コントロールですがそれでも網膜症が進行してきた場合、網膜にレーザーを照射して網膜症の進行を抑えます。レーザー治療は外来通院で行います。もっと進行してきて硝子体出血や網膜剥離を起こした場合には硝子体手術が必要となります。これは入院での加療になります。しかしこれらの治療も障害が進んでしまった網膜を回復することは困難です。

【定期検査の重要性】

糖尿病網膜症になったからといってすぐに視力低下したり失明するわけではありません。しかし初期の段階では自覚症状は全くありませんので眼科での検査を受けなければ網膜症になっているかどうかわかりません。そのため定期検査をうけて状態を把握して適切な時期に適切な治療を受けることが大切になってきます。

眼科部長 田中 久子

(3) 健康講座のお知らせ ※無料、参加自由

- ・演 題 : それって、ほんま? 「ワクチンについて」
- ・講 師 : 非常勤医師 谷田 憲俊
- ・日 時 : 7月19日(木) 14:00~14:50
- ・場 所 : 明和病院 南館5階 南会議室



(4) 医療講座(公民館主催)のお知らせ

- ・演 題 : 血圧について
- ・講 師 : 内科 循環器担当部長 中尾 伸二
- ・日 時 : 7月5日(木) 14:00~15:30
- ・場 所 : 学文公民館(Tel 41-6050) ※無料(参加自由)



(5) 「サマーミニコンサート」のお知らせ

今月のミニコンサートは、七夕バージョンで開催します。初夏の夕べを美しい音色でお楽しみ下さい。

- ・日 時 : 7月6日(金) 16:00~16:50
- ・場 所 : 中央館4階デイルーム
- ・内 容 : 「たなばたさま」「夏は来ぬ」「見上げてごらん夜の星」等
バーチャイムを使つての合奏やリクエストもできます。

